

# 国土交通委員会

## 委員一覧 (25名)

委員長	辻元 清美 (立憲)	永井 学 (自民)	青島 健太 (維新)
理事	滝波 宏文 (自民)	長谷川 岳 (自民)	石井 めぐみ (維新)
理事	山本 佐知子 (自民)	山本 順三 (自民)	安藤 裕 (参政)
理事	蓮 舫 (立憲)	若井 敦子 (自民)	宮出 千慧 (参政)
理事	後藤 斎 (民主)	羽田 次郎 (立憲)	木村 英子 (れ新)
理事	三浦 信祐 (公明)	吉田 忠智 (立憲)	ながえ 孝子 (無)
	阿達 雅志 (自民)	磯崎 哲史 (民主)	平山 佐知子 (無)
	見坂 茂範 (自民)	平戸 航太 (民主)	
	酒井 庸行 (自民)	西田 実仁 (公明)	(会期終了日 現在)

## (1) 審議概観

第219回国会において、本委員会に付託された法律案は、内閣提出1件であり、可決した。また、本委員会付託の請願1種類1件は、保留とした。

### 〔法律案の審査〕

気象業務法及び水防法の一部を改正する法律案は、水災による被害の軽減を図るため、洪水の特別警報の創設、国土交通大臣等が共同して行う高潮の予報及び警報の創設、河川管理者等による氾濫等の通報の実施等の措置を講ずるとともに、情報通信技術の進展を踏まえ、予報業務の利用者の保護を図るため、外国法人等が行う予報業務の許可に関する規定の整備等を行おうとするものである。

委員会においては、洪水特別警報創設の背景及び効果、洪水特別警報等の防災気象情報を的確に伝達し、周知する必要性、予報業務に関する規制の実効性確保のための方策等について質疑が行われ、全会一致をもって可決された。

### 〔国政調査〕

11月18日、国土交通行政等の諸施策について、金子国務大臣から説明を聴取した。

11月20日、質疑を行い、北陸新幹線の早期全線開業に向けた国土交通大臣の決意、自然災害への備えとして道路ネットワークを強化する必要性、「責任ある積極財政」の下での公共事業の重要性和予算確保に係る国土交通大臣の見解、大分市の大規模火災についての国土交通大臣の受け止めと今後の取組方針、第1次国土強靱化実施中期計画に係る予算の確保に向けた取組方針、持続可能な建設産業の実現に向けた国土交通省の取組状況、「交通空白」の解消に向けた国土交通省の対応方針と具体的な取組内容、東九州地域の高速交通体系の整備を促進する必要性、インフラ老朽化対策に係る具体的な取組内容、自動車事故被害者への支援の充実に向けた具体的な取組方針、能登半島地震に伴う土地境界問題に係る国土交通大臣の所見と対応を加速化する必要性、予防保全型のインフラ管理の実現に

向けた今後のロードマップ、建設業における現場の声を踏まえた柔軟な労働環境の整備に対する国土交通大臣の見解、航空大学校における訓練遅延に対して抜本的な対策を講じる必要性、海上保安学校において訓練時に使用する防具を新調するための予算を確保する必要性、自動運転の社会実装に係る海外の動向、自動物流道路構想の具体的な内容、自動運転を我が国の成長産業とするための取組方針、インバウンドの負の側面を踏まえた訪日外国人旅行者数に係る現行の政府目標の妥当性、老朽化を踏まえた下水道管路の更新における積極的な財政支援の必要性、北陸新幹線におけるルートの検討を与党の枠組みではなく国土交通省の責任で行う必要性、障害者が公的賃貸住宅に入居する際に求められる同居親族要件等を見直す必要性、障害者の住宅確保における行政の相談窓口等の支援体制整備に対する国土交通大臣の見解、防災の観点から四国における高速道路のミッシングリンクを優先的に整備する必要性、交通の利便性向上を人口減少対策に位置付け地方の高速道路整備を重点的に進める必要性、富士山の大規模噴火の可能性に対する気象庁の見解、噴火災害の視点も反映した事前復興まちづくり計画の策定に向けた支援の必要性などの諸問題が取り上げられた。

12月2日、質疑を行い、建設業における地域・季節ごとの柔軟な休暇取得の在り方、人口減少下における地方の高規格道路整備の必要性に対する国土交通大臣の見解、中国からの訪日旅行者減少による経済的な影響が長期化した場合の観光業への支援策、中華圏からのインバウンドに過度に依存しない観光施策の必要性、在外外国人による短期売買で都内のマンション価格が高騰しているとの指摘の妥当性、外国人による不動産取引状況について省庁横断的な一元管理を前提として調査する必要性、高速道路におけるトレーラー等の最高速度規制に係る今後の検討方針、荷待ち・荷役時間の短縮に向けた取組と現状、改正貨物自動車運送事業法等の実効性担保のための的確な実態把握の進め方、海上保安庁における離職防止策を始めとした実員確保に向けた取組強化の具体策、全国の空港における航空機発着遅延防止のための具体策の明示及び実行の必要性、自動二輪車の高速道路料金見直しに対する国土交通大臣の見解、自動車整備士不足対策として進めてきたこれまでの施策の効果及び今後必要となる施策、第1次国土強靱化実施中期計画の着実な推進に必要な財源確保策、長期的ビジョンに沿った道路等のインフラ投資を行う必要性に対する国土交通大臣の見解、複数の事故例が報告されている学校施設におけるキャタピラ式昇降機使用の妥当性、高等学校のバリアフリー化を義務の対象とするための検討を早急に行う必要性、国土交通省の政策立案に女性の視点をより反映させるため女性職員の裾野を広げる必要性、自動車運送事業者の働きやすい職場認証制度の普及に向けて制度を改善する必要性、大規模災害時の広域避難対策に資する被災者データベースシステムの全国展開の必要性、富士山などの大規模噴火時における道路啓開等交通インフラの復旧対策などの諸問題が取り上げられた。

## (2) 委員会経過

○令和7年11月18日(火) (第1回)

- ・理事の選任及び補欠選任を行った。
- ・国土の整備、交通政策の推進等に関する調査を行うことを決定した。

- ・国土交通行政等の諸施策に関する件について金子国務大臣から説明を聴いた。

#### ○令和7年11月20日(木) (第2回)

- ・政府参考人の出席を求めることを決定した。
- ・北陸新幹線(敦賀・新大阪間)の整備に関する件、「交通空白」の解消に向けた取組に関する件、自動車事故被害者への支援の充実に関する件、インフラの老朽化対策に関する件、建設業をめぐる諸課題に関する件、自動運転の推進に関する件、訪日外国人旅行者数に係る現行の政府目標の妥当性に関する件、障害者の公的賃貸住宅への入居に係る差別的要件の見直しに関する件、四国における高規格幹線道路網の整備促進に関する件、富士山の大規模噴火対策に関する件等について金子国土交通大臣、酒井国土交通副大臣、永井国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

滝波宏文君(自民)、吉田忠智君(立憲)、磯崎哲史君(民主)、平戸航太君(民主)、三浦信祐君(公明)、青島健太君(維新)、宮出千慧君(参政)、木村英子君(れ新)、ながえ孝子君(無)、平山佐知子君(無)

#### ○令和7年12月2日(火) (第3回)

- ・政府参考人の出席を求めることを決定した。
- ・参考人の出席を求めることを決定した。
- ・建設業における働き方改革に関する件、マンション価格の高騰対策に関する件、トラックドライバーの労働環境の改善に関する件、海上保安庁における実員確保に向けた取組に関する件、自動二輪車の高速道路料金の見直しに関する件、社会資本整備の着実な推進に関する件、学校施設のバリアフリー化の推進に関する件、自動車運送事業者の働きやすい職場認証制度の改善に関する件、富士山の大規模噴火対策に関する件等について金子国土交通大臣、中村文部科学副大臣、政府参考人及び参考人日本銀行企画局審議役服部良太君に対し質疑を行った。

[質疑者]

見坂茂範君(自民)、蓮舫君(立憲)、磯崎哲史君(民主)、三浦信祐君(公明)、石井めぐみ君(維新)、安藤裕君(参政)、木村英子君(れ新)、ながえ孝子君(無)、平山佐知子君(無)

- ・気象業務法及び水防法の一部を改正する法律案(閣法第4号)(衆議院送付)について金子国土交通大臣から趣旨説明を聴いた。

#### ○令和7年12月4日(木) (第4回)

- ・政府参考人の出席を求めることを決定した。
- ・気象業務法及び水防法の一部を改正する法律案(閣法第4号)(衆議院送付)について金子国土交通大臣、長坂厚生労働副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

[質疑者]

山本佐知子君(自民)、羽田次郎君(立憲)、後藤斎君(民主)、三浦信祐君(公明)、青島健太君(維新)、宮出千慧君(参政)、木村英子君(れ新)、ながえ孝子君(無)、平山佐知子君(無)

(閣法第4号)

賛成会派 自民、立憲、民主、公明、維新、参政、れ新、無(ながえ孝子君、平山佐知子君)

反対会派 なし

#### ○令和7年12月17日(水) (第5回)

- ・理事の補欠選任を行った。
- ・請願第405号を審査した。
- ・国土の整備、交通政策の推進等に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- ・閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。